

医療廃棄物処理施設の増設工事に着手 医療廃棄物処理の需要増に対応すべく、焼却処理能力を増強

当社（社長：中戸川 稔）グループの中核事業会社で、産業機械部門を担う古河産機システムズ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：岩間 和義）の関係会社である群馬環境リサイクルセンター株式会社（本社：群馬県高崎市、社長：横山 修郎、以下：GKR[※]）は、医療廃棄物の焼却処理を行う 2 号焼却炉の新設工事に着手しました。2 号焼却炉の竣工は 2024 年 3 月、稼働は 2024 年 4 月を予定しており、最大焼却処理能力は現行の約 2 倍の 130 トン/日となる見込みです。今後予想される医療廃棄物処理の需要増に対応していきます。

※GKR は当社グループの登録商標です。



2 号炉完成イメージ

2 号焼却炉新設の目的

GKR は、医療廃棄物の中間焼却処理を行っており、国内最大級の保冷自動倉庫を併設した最新鋭の医療廃棄物専門処理施設です。既存の 1 号焼却炉は 2006 年 4 月の操業開始以降、群馬県における医療廃棄物処理の実績を積み重ねてきました。また、新型コロナウイルス感染症が蔓延するなかで、群馬県下の療養者施設全ての感染性廃棄物処理を請け負うなど、地域貢献を続けています。

今後、少子高齢化が進み、高齢者医療・介護を中心とした医療廃棄物の増加や、新型インフルエンザなどの流行による感染性廃棄物の大量発生等が予想され、1 号焼却炉のみでは、処理能力不足が想定されます。GKR が、地域の医療廃棄物の適正処理要請に応えるためには、処理能力の増強、ならびに故障リスク等の BCP 対応が必要と判断し、2 号焼却炉の新設を決定しました。

焼却炉の設置には群馬県高崎市の許認可が必要ですが、環境アセスメントを実施した結果、環境に対する負荷は極めて軽微であることから、2022 年 9 月に同市より 2 号焼却炉設置の許可を得ました。

2 号焼却炉は 2024 年 4 月から運転を開始する予定で、現行の約 6 割増しの年間 28,000t の処理を見込んでおり、群馬県や近隣の県はもとより関東甲信地域からの受入要請にも応えることが可能です。

GKR は、今後も医療廃棄物処理を通じて、地域に貢献していきます。

2 号焼却炉の概要（予定）

処理量	70 t/日（医療廃棄物として）
稼働日	300 日/年
処理方式	バッチカル炉（縦型火格子式ストーカ炉） [※]
排ガス処理方式	バグフィルタ+触媒反応塔
2 号炉用保管庫	保冷自動倉庫
2 号炉棟（誘引通風機室を含む）	地上 3 階 延べ床面積 1,563.13 m ²
総投資額	約 28 億円
営業運転	2024 年 4 月

※バッチカル炉は、ガス化燃料方式の焼却炉で、廃棄プラスチックなどの発熱量の高い廃棄物処理に向いています。

【補足資料】

■会社概要

【古河機械金属株式会社】(東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715)

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業 3 部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニット部門）と素材事業 3 部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創 業：1875 年（明治 8 年）8 月

設 立：1918 年（大正 7 年）4 月

資 本 金：282 億 818 万円

従業員数：2,804 人[2022 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawakk.co.jp/>

【古河産機システムズ株式会社】（古河機械金属株式会社 100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：岩間 和義

事業内容：足尾銅山の鉱山機械修理技術をルーツに、現在はスラリーポンプ、汚泥ポンプ、破碎機、スクリーンのほか、鋼橋梁やベルトコンベヤ等の設計・製造・据付工事・運転管理を行っています。

設 立：2004 年 5 月

資 本 金：3 億円

従業員数：422 名[2022 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawa-sanki.co.jp/>

【群馬環境リサイクルセンター株式会社】

本社所在地：群馬県高崎市倉賀野町 3250-12

代表取締役社長：横山 修郎

事業内容：医療廃棄物の中間焼却処理を行っています。

設 立：2001 年 7 月

資 本 金：4 億円

従業員数：17 名[2022 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<http://www.gkr.ne.jp/index.html>